2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	スーパーバッグ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3945	URL	https://www.superbag.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	樋口　肇
問合せ先責任者	（役職名） 経理部長	（氏名）	鈴木　崇之　　TEL　04-2938-1244
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,456	0.2	86	△70.8	120	△64.5	123	△52.5
2026年３月期中間期	13,431	2.4	296	△11.0	339	△13.0	260	△4.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　201百万円(△36.4%)　2026年３月期中間期　317百万円(　27.2%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	83.25	―
2026年３月期中間期	175.58	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	14,431	5,603	38.8
2026年３月期	13,761	5,559	40.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　5,592百万円　2026年３月期　5,546百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	―	―	110.00	110.00
2027年３月期	―	―			
2027年３月期(予想)			―	110.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	29,000	3.0	550	△27.5	590	△28.8	460	△42.5	309.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,686,154株	2026年３月期	1,686,154株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	198,327株	2026年３月期	201,005株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,486,307株	2026年３月期中間期	1,484,065株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、中間期決算短信(添付資料)３ページ「１．経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇による個人消費への影響や、金利や為替の動向、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー供給不足や原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、ＥＣ市場の継続した拡大と環境意識の定着から、紙製宅配資材の需要は底堅く推移した半面、原材料価格・物流コストの高騰は依然として継続しており、安価な海外品との競争激化も相まって厳しい事業環境が続いています。

このような環境のもと、当社グループは2024年５月10日に第２次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間においては、紙袋の有料化拡大による手提袋の出荷鈍化や原材料の高騰など厳しい環境が継続しておりますが、生産拠点への新型機の導入、倉庫の集約、基幹システムへの投資などコスト削減と効率的な業務運営の実現に向けた施策を実行してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は13,456百万円（前年同期比0.2％増）、営業利益86百万円（前年同期比70.8％減）、経常利益120百万円（前年同期比64.5％減）、親会社株主に帰属する中間純利益123百万円（前年同期比52.5％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用417百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、重点ターゲット市場への拡販により宅配袋と角底袋の出荷は好調に推移したものの、紙袋有料化の影響で手提袋の販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ411百万円減少して6,821百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、物価上昇に対応した価格改定を実施してまいりましたが、コスト上昇が先行したことにより粗利率が低下したことに加えて、生産設備の保全対応に伴う工場稼働率の低下及び新型設備投資により償却負担が増加したことなどから、前年同期に比べ194百万円減少して291百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、飲食店をはじめとするテイクアウト用ポリ袋の受注が好調であったことから、売上高は前年同期に比べ314百万円増加して3,064百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、中東情勢の影響により原材料価格が上昇した一方、迅速な価格転嫁を行った結果、前年同期に比べ10百万円増加して82百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、Ｓ・Ｖ・Ｓ（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ122百万円増加して3,571百万円となりました。品目ごとの販売構成では、事務用品、販売用品の販売が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、新規顧客の開拓と価格改定を進めた結果、前年同期に比べ29百万円増加して129百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ669百万円増加して14,431百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が370百万円減少した一方、電子記録債権が112百万円増加、棚卸資産が439百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ136百万円増加の9,038百万円となりました。固定資産は、減価償却で174百万円減少、投資有価証券の売却で34百万円減少した一方、設備投資等により636百万円増加、投資有価証券の時価評価額が140百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ533百万円増加の5,392百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ625百万円増加して8,827百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が180百万円減少、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が335百万円減少した一方、短期借入金及び長期借入金が983百万円増加、未払金及び設備関係未払金が64百万円増加、未払法人税等が44百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加して5,603百万円となりました。これは、剰余金の配当で163百万円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益計上により123百万円増加、その他有価証券評価差額金が95百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の40.3%から38.8%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ372百万円減少しております。その内訳は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は、558百万円（前年同期は385百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前中間純利益177百万円、減価償却費174百万円等資金が増加したものの、中小受託取引適正化法（取適法）の対応に伴う支払サイトの短縮などによる仕入債務の減少483百万円、棚卸資産の増加439百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、606百万円（前年同期は31百万円の増加）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入99百万円等資金が増加したものの、固定資産の取得による支出696百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は、793百万円（前年同期は113百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払額163百万円、リース債務の返済による支出26百万円等資金が減少したものの、借入金が純額で983百万円増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における業績を勘案し、2026年５月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,619	1,248
受取手形	29	11
売掛金	3,745	3,717
電子記録債権	517	629
商品及び製品	2,323	2,728
仕掛品	250	251
原材料及び貯蔵品	268	301
その他	167	166
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	8,901	9,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,019	4,072
減価償却累計額	△3,397	△3,398
建物及び構築物（純額）	621	673
機械装置及び運搬具	7,163	7,393
減価償却累計額	△6,256	△6,149
機械装置及び運搬具（純額）	907	1,243
土地	644	644
リース資産	352	354
減価償却累計額	△226	△230
リース資産（純額）	126	123
建設仮勘定	33	67
その他	371	382
減価償却累計額	△348	△352
その他（純額）	22	29
有形固定資産合計	2,356	2,781
無形固定資産		
ソフトウエア	53	45
その他	149	197
無形固定資産合計	202	242
投資その他の資産		
投資有価証券	1,395	1,476
差入保証金	242	239
退職給付に係る資産	598	594
繰延税金資産	45	46
その他	19	14
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,300	2,368
固定資産合計	4,859	5,392
資産合計	13,761	14,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,150	1,969
電子記録債務	1,740	1,437
短期借入金	984	1,725
リース債務	51	53
未払金	436	471
未払法人税等	38	82
未払消費税等	15	―
契約負債	25	13
賞与引当金	221	225
設備関係電子記録債務	32	0
設備関係未払金	52	81
その他	135	164
流動負債合計	5,884	6,225
固定負債		
長期借入金	1,421	1,664
リース債務	155	145
繰延税金負債	96	129
役員退職慰労引当金	39	8
退職給付に係る負債	603	621
その他	―	31
固定負債合計	2,317	2,602
負債合計	8,202	8,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,244	1,244
利益剰余金	2,629	2,589
自己株式	△370	△365
株主資本合計	4,878	4,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	513
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	79	74
退職給付に係る調整累計額	169	161
その他の包括利益累計額合計	668	748
非支配株主持分	12	10
純資産合計	5,559	5,603
負債純資産合計	13,761	14,431

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	13,431	13,456
売上原価	10,809	10,937
売上総利益	2,622	2,519
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,150	1,179
給料及び手当	658	666
賞与引当金繰入額	116	116
退職給付費用	26	22
賃借料	68	118
旅費及び交通費	34	37
その他の経費	270	291
販売費及び一般管理費合計	2,325	2,432
営業利益	296	86
営業外収益		
受取配当金	24	23
持分法による投資利益	31	39
為替差益	4	―
受取賃貸料	3	3
その他	9	12
営業外収益合計	74	79
営業外費用		
支払利息	29	31
為替差損	―	0
その他	2	13
営業外費用合計	31	46
経常利益	339	120
特別利益		
投資有価証券売却益	54	65
特別利益合計	54	65
特別損失		
固定資産除却損	6	8
子会社清算損	19	―
特別損失合計	25	8
税金等調整前中間純利益	367	177
法人税、住民税及び事業税	120	63
法人税等調整額	△13	△7
法人税等合計	107	55
中間純利益	260	121
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	260	123

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	260	121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	95
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	9	△0
退職給付に係る調整額	1	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△4
その他の包括利益合計	56	79
中間包括利益	317	201
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	316	203
非支配株主に係る中間包括利益	0	△1

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	367	177
減価償却費	134	174
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	11	3
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2	△20
受取利息及び受取配当金	△25	△23
支払利息	29	31
持分法による投資損益（△は益）	△31	△39
投資有価証券売却損益（△は益）	△54	△65
固定資産除却損	6	8
子会社清算損益（△は益）	19	―
売上債権の増減額（△は増加）	223	△67
棚卸資産の増減額（△は増加）	△173	△439
仕入債務の増減額（△は減少）	35	△483
未収入金の増減額（△は増加）	6	△3
未払債務の増減額（△は減少）	137	127
未払消費税等の増減額（△は減少）	△54	△15
その他	△133	△39
小計	500	△675
利息及び配当金の受取額	96	75
利息の支払額	△31	△35
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△180	77
営業活動によるキャッシュ・フロー	385	△558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	189	99
固定資産の取得による支出	△151	△696
固定資産の除却による支出	△3	△4
差入保証金の差入による支出	―	△3
その他	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	31	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	―	720
長期借入れによる収入	700	800
長期借入金の返済による支出	△621	△536
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△38	△26
配当金の支払額	△152	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113	793
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	312	△372
現金及び現金同等物の期首残高	2,780	1,558
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,092	1,186

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,906	―	―	5,906	―	5,906
紙器	895	―	―	895	―	895
その他紙製品	431	―	―	431	―	431
ポリ袋	―	2,370	―	2,370	―	2,370
その他化成品	―	379	―	379	―	379
その他商品	―	―	3,448	3,448	―	3,448
顧客との契約から生じる収益	7,233	2,749	3,448	13,431	―	13,431
外部顧客への売上高	7,233	2,749	3,448	13,431	―	13,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	7,233	2,749	3,448	13,431	―	13,431
セグメント利益	486	71	99	658	△361	296

（注）　１．セグメント利益の調整額△361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,625	―	―	5,625	―	5,625
紙器	756	―	―	756	―	756
その他紙製品	439	―	―	439	―	439
ポリ袋	―	2,578	―	2,578	―	2,578
その他化成品	―	486	―	486	―	486
その他商品	―	―	3,571	3,571	―	3,571
顧客との契約から生じる収益	6,821	3,064	3,571	13,456	―	13,456
外部顧客への売上高	6,821	3,064	3,571	13,456	―	13,456
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	6,821	3,064	3,571	13,456	―	13,456
セグメント利益	291	82	129	503	△417	86

（注）　１．セグメント利益の調整額△417百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。